

ウエルカム



発行:松伏町企画財政課
編集:企画財政課(国際交流協会事務局)
国際交流協会イベント委員会
〒343-0192
埼玉県北葛飾郡松伏町大字松伏2424番地
TEL 048-991-1815(直通) FAX 991-7681

オーストリア・グライズドルフ市との相互訪問事業



松伏町役場を訪問されたときの様子

今年で33年目！松伏町国際交流協会は、オーストリア・グライズドルフ市の生徒と相互交流をしています!!

音楽の都ウィーンのあるオーストリア。1990年から松伏町国際交流協会は、毎年8月の夏休みに2週間ほどオーストリア・グライズドルフ市のギムナジウム(中学・高校)の生徒と相互(1年おき)に国を訪問し、ホームステイをしながら、交流や異文化体験をしています。今や相互交流のOBは両国で400人を超えました。



シュロスベルクの時計台で



グライズドルフ市の街並みや郊外の景色

私たちが交流をしているグライズドルフ市は、首都ウィーンから130km、州都グラーツから20km離れたところに位置する、松伏町と同じよう

などかな街です。街の中心には教会と広場があり、毎週末、広場で朝市が開かれています。また、その周りにはカフェやショップがあり、歩ける距離に市庁舎や学校などもあります。郊外には牧草地やリンゴ・ブドウ畑が広がっていて、とても素敵な街です。そんなグライズドルフ市の中学・

高校生と松伏町の中学・高校生は交流をし、ホームステイをしながら、学校体験や工場見学、世界遺産見学など、異文化を学び、たくさんの貴重な経験をしているのです。

2024年夏(来年夏)から・オーストリアとの交流が復活します!!

2019年8月に松伏町からの訪問団がオーストリア・グライズドルフ市に訪問した後、2020年から新型コロナウイルスの世界的パンデミックにより、交流が一時休止となっています。コロナ禍でもSNSで、オーストリアと密に連絡を取っていましたが、早く交流を再開したいとの願いがありました。やっとパンデミックも落ち着いてきましたので、交流を再開したいと考えています。オーストリアとの話し合いから、2024年の夏休みにしっかり準備をし、さらに安全に海外に行けるようになってからの交流を再開する予定です。



オーストリアで音楽の授業を体験♪

オーストリア訪問団が来日する？松伏から派遣団がオーストリアを訪問する？

来年2024年の夏には、さらに安全に飛行機に乗って、国を超えた交流が出来ることと思います。松伏からも、「オーストリアに行きたいです!」という中高生の声も聞かれますし、オーストリアからも「早く来日したいです!」という声も聞こえます。オーストリアと連絡を取り合って、どちらが良いか1年前の夏までに決定したいと思っています。決定しましたら…

2024年夏、派遣団 又は ホストファミリーを募集いたします！



グラーツの街で



シェーンブルン宮殿

2024年に訪問が決まりましたら、派遣団員(中学生・高校生、大学生以上はヤングリーダーとして)を募集します。派遣団員は出発までに、国のことや語学の研修もあり、多くのことを学んで出発します。または、来日することになりましたら、ホストファミリーを募集します。日本にいて1番身近にできる国際交流で、子どもたちにとって、とても刺激になります。この交流はホームステイをしながら、お互いの文化を学び、家族の方と交流します。海外に家族ができる素晴らしい体験です。子どもたちに有意義な国際交流ですし、外国の方と触れ合え、視野や考えが大きく変わるとても良い機会です!!ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。詳細はまた後日お知らせします。質問等は役場企画財政課にお問い合わせを。



空港にて生演奏での熱烈な歓迎

2023年の活動に向けて

松伏町国際交流協会 会長 三浦恵子

コロナの前まで続いていたオーストリアとの交流も、グライズドルフ市訪問の翌年、2020年の松伏での受入を断念してから3年が経過してしまいました。2023年の新春、新型コロナウイルス感染状況も落ち着き、交流再開への期待で胸をふくらませています。

そんな中、昨年末にかつての松伏訪問団の団長、プルシंगाー・ローランドさんが来日され、松伏にもご挨拶にいらっしゃいました。協会の関係者で集まって旧交を温め、懐かしい思いで胸が一杯になりました。改めて、色々な方々の御協力があってこそ穏やかな交流を30年以上も続けられた事に気づかされました。多くのご家庭から「オーストリアへ行きたい」「ホームステイに来て欲しい」との声が寄せられており、実現のために準備を進めていきたいと考えています。2024年夏再開を目指していますが、中断期間が長引き多くの時間が必要ですので、ご理解いただければと思います。

日本語ひろばは、春夏の1学期は、いつものように文教大学の日本語教育課程の学生さんにお世話になりました。10月からの2学期は、大学の先生やひろば先輩学生OBの方々に助けていただきながら、町民ボランティアや協会のメンバーのスタッフで運営することとなりました。初めてのことで不安もありましたが、蓋を開けてみれば、教室を飛び出して屋外学習を2回もできるなど、6名の外国籍学習者はもちろん、スタッフを含めた関係者全員で愉快地過ごすことができました。次回も皆さんとお会いできる事を楽しみにしています。

当協会の活動にご協力いただいた皆様ありがとうございます。2023年もよろしく願いいたします。



来日したローランドさん

ホストファミリー・訪問団 その後の交流報告 国際交流協会理事 上楽哲也

13年前からホストファミリーとしてオーストリアからのホームステイの受け入れに参加しました。2017年には子どもが日本からオーストリアへの訪問団に参加させて頂き、2019年には自分自身が付き添いとして訪問団に参加することになりました。メンバーの中学生・高校生に比べて30年遅れでホームステイする側を体験させて頂きました。



ホームステイ中の一コマ

以前にホームステイで我が家へ来た子たちがオーストリアでのフェアウェルパーティーに来てくれて再会できたのはとても嬉しいことでした。滞在させて頂いたのは少し年上の学校の先生のお宅で、その後もメッセージのやり取りなどをしていましたが、誕生日にプレゼントが届いたのにはびっくりしました。これまでホームステイで来てくれた子にここまでしてあげたことはなかったなと思いつつ…こちらもいい大人なのに本当の家族のように親身に接してくれたのだと思います。それからはこちらからもクリスマスにお菓子や日本のカレンダーを入れて小包を送ってきました。新型コロナの発生以降は町の様子やリ

モトワーク、学校の様子などの近況を連絡し合ってきました。

これまでホームステイで知り合った子の中には今も連絡をとっている子も、連絡が途絶えてしまった子もあります。クリスマスにまめな手紙をくれる子があれば、年賀状を送っても返事が返って来なかったり。それでいて東日本大震災の翌日に、大丈夫か、とメールが来て嬉しかったのを覚えています。40代の私ですらたくさん刺激を受けたので、中学生・高校生の多感な時期に遠い場所の人達と行き来した経験は貴重なものになったと思います。何かの折にまた連絡がつくことを楽しみに交流を続けていきたいと思っています。

国際交流体験談

国際交流協会理事 宇田祐子

保育士として仕事をしてきましたが定年退職したのを機に、海外インターンに行ってきました。赴任先はメキシコのチワワ州。3か月の間、6家族にお世話になり、どの瞬間も有意義な楽しい日々を過ごしてきました。

スペイン語を勉強したことのない私が困ることなく様々な貴重な体験ができたのは、ホストファミリーのおかげです。一緒に生活をする中で、スペイン語も少しずつ理解できるようになっていきました。国は違っても人と人との交流や繋がり大切さは同じ、ということも様々な場面で見ました。国際交流の場を大切に、これからも楽しみながら活動していきたいと思っています。



現地のメディアでも紹介されました

まつぶし日本語ひろば

「まつぶし日本語ひろば」は、毎週土曜日に開催します

町のTwitterアカウントのツイートに気づかれた方はいますか？

<まつぶし日本語ひろば>

にほんごをまなびたい人、友だちをつくりたい人、ぜひ来てください！

○ ??が? ?にち10じから ○ ばしよ:やくば

○ <http://bit.ly/3RfYFEB> ○ 国際交流協会/文教大学

【企画財政課991-1815】

#にほんご #まつぶし #にほんごきょうしつ #ともだち



学習の様子

上記のようなツイートです。身近に日本語を学びたい方がいたら教えてあげて頂きたいのです。

「まつぶし日本語ひろば」は外国出身の方に向けた学びと交流の場です。毎週土曜日、役場にて、日本語学習と生活習慣などの情報を参加者に提供しています。松伏町国際交流協会・文教大学・日本語ボランティアの皆さんがボランティアスタッフとして運営に参加しています。

日本語ひろばは2021年秋にいったん休止した後、2022年春から再開しました。2022年度の参加者は計13人、出身国はイラン、インド、オーストリア、韓国、カンボジア、台湾、パキスタン、バングラデシュでした。



学習者とボランティア

松伏町に外国にルーツを持つ方が多く住んでいることに改めて気づかされます。お互いの文化について初めて見聞きすることもあります。パキスタンの方

からはクリケットのインターネット中継を毎週楽しみにしているという話を聞きました。各国の料理自慢という課題では「シュニツェル」「ビリヤニ」「ネンミョン」…他にも色々な料理が紹介されました。ひろばでの会食がコロナ禍でできないのが残念です。

日本語ひろばで使われる言葉は基本的に日本語です(英語や自動翻訳を利用することもあります)。日本語学習にあたっては文教大学日本語教員養成コースの先生と学生の皆さんの協力を頂いています。参加者全員で取り組む、初めの30分間の全体会では、例えば「あいさつ」「物の数え方」「動きを表すことば」といった課題が取り上げられました。日本語教育を専門にしている皆さんの技能と工夫には驚かされます。ボランティアスタッフも全体会の担当に挑戦しました。こちらは日常生活に必要な情報をテーマとして「松伏の公園一覧表」「ゴミの捨て方」「まつぶしラーメンマップ」「水害予防」など。また各地の「方言と特産品」を紹介したり、会議室を出て「お寺と神社」を実際に訪問して違いを見学した日もありました。

後半1時間強は個別学習で目標やレベルに応じてグループや個人に分かれて学習していきます。過去2年間は感染対策を行っての制限のある中での開催でした。そうした中でも参加者から良い出会いがあった、楽しかったと感想を頂けたのはとても嬉しいことです。日本語教室だけど日本語だけじゃない、ふれあいの場を大切にしていきます。

ボランティア随時募集中!

日本語ひろばはボランティアの皆さんに支えられています。高校生・大学生から中高年まで様々な世代とバックグラウンドの方が自分の視点を活かして参加できる活動です。多文化共生・国際交流に興味のある方はぜひお問合せください。

(2月～4月は春休みです。5月からの開始予定は松伏町ホームページ等でご確認ください。)

日本語を学んで

About the Japanese class:

Katrin Zachhalmel(Austria)

「日本語ひろば」について:

カトリン ザッハメル(オーストリア)



「日本語ひろば」はとても楽しくて勉強になりました。

日本の文化や伝統、日本での生活や松伏に関する有益な情報、日常のマナーについて学

びました。もちろん日本語も勉強しました。先生たちはとても親切で、熱心に手伝って教えてくれます。みんなとてもフレンドリーで親切でした。私は素晴らしい時間を過ごし、次の「日本語ひろば」が待ちきれません。【以上英文翻訳】

“ありがとうございます。”(原文のまま)



お問合せと申し込み

松伏町企画財政課 (国際交流協会事務局)

電話991-1815 Fax991-7681

Email:kizai1020300@town.matsubushi.lg.jp